

次世代医療基盤法認定事業者による個人情報の不適切取得事案について 〔一般社団法人ライフデータイニシアティブ 及び 株式会社NTTデータ〕

1. 概要

- 次世代医療基盤法の認定事業者である一般社団法人ライフデータイニシアティブ（LDI）のデータベースに、同法に定める本人通知が行われていない患者の医療情報約94,579人分が含まれていた。
- 医療機関から認定事業者に対して提供する情報を処理するために、株式会社NTTデータが構築したプログラムの誤りに起因するとの報告。
- 認定事業者は、誤って取得した医療情報の一部について、当該医療情報を元に匿名加工医療情報等を作成した上で、製薬企業等の第三者に対し提供している。なお、匿名加工医療情報は個人情報に当たらない。

2. 経緯

6月30日	NTTデータが、医療機関等から提供を受けた医療情報の中に、法に基づく本人通知が行われていない患者の情報が含まれる可能性を認識
9月2日	NTTデータからLDIに対して事案の発生を報告
9月9日	LDIから内閣府に対して、事案の発生を報告
9月20日	主務省庁からLDI及びNTTデータに対して報告命令
10月4日	LDI及びNTTデータから報告書提出
10月7日	LDI及びNTTデータに対し次世代医療基盤法に基づく指導を通知
10月28日	LDI及びNTTデータから報告書再提出
11月2日	有識者・実務者会議において、有識者から追加的に指摘
11月30日	有識者からの指摘を踏まえて、LDI及びNTTデータから報告書再提出

⇒ 今後、有識者からの追加的な指摘への対応含め、改善を求めていく。